

平成 27 年度 環境科学科トピックス

それいけ糸貫川 ～ゲンジボタルのひみつ～



農林生と行く 生涯学習センターきらり・ゆうすいの会共催

それいけ糸貫川!

～ゲンジボタルのひみつ～ part1

5月10日(日)13:30～15:30

※雨天の場合は、生涯学習センターきらりで行います。

ホタルのすみかを知ろう!
ホタルはどんな場所にいるのかな?

ホタルのひみつを知ろう!
ホタルとはどんな生きものなのか!

【企画・講師 岐阜農林高校 3年 環境科学科生徒 GFSC部員】
【運営協力 北方町河川環境保全ボランティア ゆうすいの会】

2015年5月10日(日)、環境科学科3年生12名が北方町教育委員会主催の「それいけ糸貫川!ゲンジボタルのひみつ」にスタッフとして参加しました。参加者は、主に北方町の小学生とその家族の方々です。糸貫川には、ゲンジボタルが舞う場所があるなど多くの水生生物が生息しています。この日は、「ホタルのすみかを知ろう」「ホタルのひみつを知ろう」を学習会の目的として、ホタルはどこに卵を産み、幼虫の時は、どこにいて何を食べているのか、成虫になるとどこをすみかとするのかを実際に川を歩きながら観察しました。また、貝類や水生昆虫、魚類と一緒に捕獲してどんな名前なのか、どんな特徴を持っているかなどを学んでもらいました。

もれなく
観察ケース1個
プレゼント

- 集合場所：きらりホール西側の八切公園
(歩いてホタルの生息地まで行きます)
- 対象：在住・在勤の小学生と保護者 30名 **参加費無料**
- 持ち物：ぼうし、飲み物、タオル、筆記用具など
長袖長ズボン・スニーカーなどの足をおおうくつで来てください。

校内意見発表会に出場



2015年5月15日(金)、校内意見発表会が開催され、全校生徒の前で予選を勝ち抜いた6名の生徒が発表しました。環境科学科からは、区分「環境」に3年生鷲見幸星君、区分「文化生活」に3年生土田洸太君が出場しました。鷲見君は、本校の水田に魚道を設置し、水田の中が生き物でにぎわう環境にしながらも、おいしいお米も安定的に収穫できる取り組みを始めたこと、そしてこのことが安心安全の米作りにつながることを述べ、見事最優秀賞となり7月に行

われる県大会に出場することとなりました。土田君は、昨年海外実習派遣に参加し、ブラジル、オランダの農業を学んだことを生かして、地域の農業の活性化に貢献できる人材になりたいと発表し、優秀賞となりました。

産業現場見学会



2015年5月19日(火)、環境科学科2年生が産業現場見学として河川環境楽園、世界淡水魚園水族館、自然共生センターを訪れました。河川環境楽園では体験学習として、公園内の長良川流域に生育する植物を題材として観察方法や同定方法、植物の生態について学びました。世界淡水魚園水族館では、県内を流れる長良川の上流から下流までの水環境が再現されており、その中で生息している魚類を観察し、どのような環境に適応しているかを学びました。また、岐阜県の河川環境の特徴についても詳しく学びました。自然共生センターでは、自然と共生する河川環境をつくるためにつくられた実験河川を見学し、人と自然が豊かに共生するための河川工学の最先端技術や研究成果を学びました。

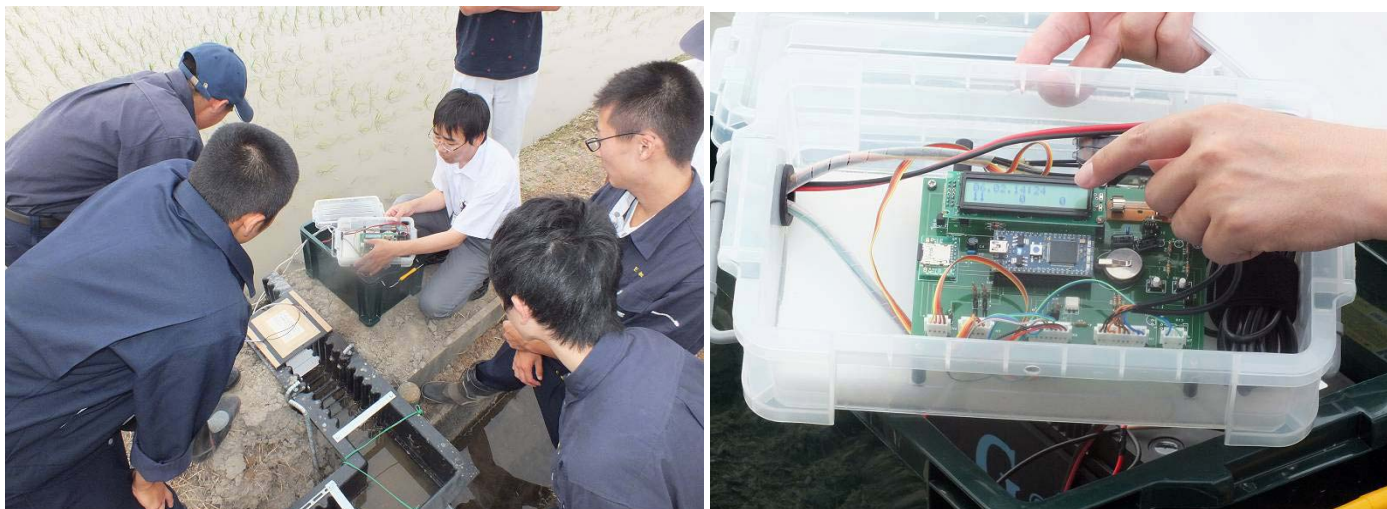
タナゴと二枚貝の研究(中間発表)



や、どんなことに視点を置いて研究を進めたら良いかなど多くの助言をいただきました。

2015年5月28日(木)、岐阜大学応用生物科学部生産環境課程伊藤准教授に來校していただき、環境共生班8名がこれまでの研究成果を発表しました。研究の内容は、近隣の3つの河川内で見つかったタナゴ類の種類や二枚貝の種類の特徴、飼育により繁殖させた時にどの種類の貝に一番多く産卵するのかなど、1年あまりの研究の成果を発表しました。先生からは、研究の正当性や改善点、科学的なデータの取り方、これからの研究の方向性

校内水田魚道に魚類遡上センサーを設置



2015年6月2日(火)、環境科学科3年生水田生態系保全班が、校内水田に遡上してくる魚の映像と数を測定するセンサーを設置しました。この設置には岐阜県生態環境部河川研究所と岐阜県情報技術研究所に協力をいただきました。昨年冬に水田に魚道がつくられ魚が行き来できるようになりました。環境科学科では、水田がお米をつくるだけでなく様々な生き物の居場所、身近な自然の中心的存在として位置づけ、安全安心の米作りと生物多様性の保全を両立させる研究を始めました。このセンサーの設置により正確なデータの収集が可能になり充実した研究ができるようになりました。これまでにマナズ、コイ、フナ、タモロコなど水田で繁殖する7種の魚類が確認されています。

SSH日韓高校生科学研究発表交流会



2015年6月5日(金)、本校に韓国東国大師範附属女子高校の生徒が訪れ、研究発表交流会、授業体験などを行いました。環境科学科に4名の生徒が実習を体験しました。内容は、3年生の課題研究で取り組んでいる水質実験で川の水を採取して、水中の酸素濃度の測定、窒素やリンの測定、シジミやタニシが持つ浄化機能などを学ぶことです。とくに濁った水の中にシジミを入れて時間の経過と共に水質がどのように変化するかを測定する実験では、英語で会話するため十分な説明ができない中でも大変興味を持ち実験に取り組む姿が見られました。

それいけ天王川!～生き物博士になろう～

農林生と行く 生涯学習センター・ゆうすいの会共催 きらり講座

それいけ天王川!

～川の生き物博士になろう～ part 3

6月14日(日)14:00～16:00

※雨天の場合は、生涯学習センターきらりで行います。

もれなく
ミニ飼育ケースか
ミニソフトネット
1個をプレゼント

・魚にふれて、しゅるいを知ろう!
天王川にはどんな魚がいるのかな?



・めずらしい川の生き物を知ろう!
天王川のめずらしい生き物の正体とは?

【企画・講師 岐阜農林高校 3年 環境科学科生徒 GFSC部員】
【運営協力 北方町河川環境保全ボランティア ゆうすいの会】



2015年6月14日(日)、環境科学科3年生16名、2年生4名が北方町生涯学習講座「農林生と行く それいけ天王川Part3～川の生き物博士になろう～」にスタッフとして参加しました。今回で3回目になるこの学習会では、本校の生徒があらかじめ

仕掛けておいた捕獲網をあげて、天王川にはどんな種類の魚がいるのか、どの魚が一番多くいるのか、天王川にいて他の川には、あまり見かけないめずらしい生き物などを実際に触れながら学んでもらいました。小学生を中心とした家族が参加し、興味津々に観察する姿が見られました。参加希望者が全員参加できないくらい大変人気がある講座ですが、これまでの3回とも参加してもらえた家族もいました。

水田アート 田植え体験学習会に参加



2015年6月20日(日)、北方町教育委員会主催による水田アート田植え体験にスタッフとして参加しました。この学習会は、昨年から行われ2回目となりました。目的は、食育教育でお米がどのようにつくられるのかを体験的に学ぶことです。秋には稲刈り、収穫したお米を食べるところまでを体験することになっています。今年は、北方町のキャラクターの「ガタロウくん」の顔です。この顔に沿って苗を植えていきました。環境科学科の生徒3年生8名は、苗を植える場所を事前に測量によって求め、そこに杭を打つ作業をしました。当日も小学生と共に田植えを手伝いました。

船来山カフェに参加



2015年6月28日(日)、環境科学科3年生4名の生徒が、富有柿の里柿センターにおいて本巢市教育委員会主催「船来山カフェ～船来山古墳について学ぼう～」にこれまでの活動を発表しました。本巢市は船来山古墳群を国指定の重要文化財とすることを目指しています。環境科学科では、この古墳群の価値を高めるための作業として古墳群の正確な測量を手伝っています。今年でこの活動も3年目を迎え、これまでの活動成果を市民の方々に知ってもらう機会を与えていただきました。発表後には、約50名の参加者と意見交流会を行い、これからどのような活動をしたら良いのかなど助言をいただきました。

農業クラブ県大会意見の部で「最優秀賞」

2015年7月10日(金)、農業クラブ県大会「意見発表の部、プロジェクト発表の部」が恵那農業高校で開催されました。環境科学科からは、学校代表として意見発表の部に3E 鷺見幸星君が「魚道で目指す未来の米作り」、プロジェクト発表の部に河川環境研究班10名が「多自然河川のモニタリングと活用に向けた取り組み」をテーマとして発表会に臨みました。この中で、意見発表の鷺見君が、1年生から取り組んできた水田を生き物でにぎわう場所としながら、安全でおいしいお米をつくるシステムをつくりだしていく取り組みが評価され、最優秀賞を受賞しました。8月5日には、三重県で開かれる東海大会に出場し全国大会出場を目指します。

それいけ糸貫川! part2～魚とり名人になろう～

農林生と行く

生涯学習センター・ゆうすいの会共催 きらり講座

それいけ糸貫川! ～魚とり名人になろう～ part2



7月12日(日)14:00～16:00

・魚をつかまえて魚にふれよう!

魚をうまくつかまえるコツは何か?

・魚の種類と見わけ方を知ろう!

魚を見わけるとは何か?

もれなく
ミニ飼育ケースか
ミニソフトネット
1個をプレゼント

【企画・講師 岐阜農林高校 3年 環境科学科生徒 GFSC部員】



2015年7月12日(日)、北方町教育委員会主催の生涯学習講座「農林生と行く それいけ糸貫川! Part2～魚とり名人になろう」に環境科学科3年生16名が参加しました。